

該当するものに○

水銀排出施設設置（使用、変更）届出書

2018 年 5 月 1 日

神奈川県知事 殿

届出者

〒231-0021
神奈川県横浜市中区日本大通 1
K プロダクツ株式会社
代表取締役 神奈川太郎

代表
者印

該当するものに○

大気汚染防止法第 18 条の 23 第 1 項（第 18 条の 24 第 1 項、第 18 条の 25 第 1 項）の規定により、水銀排出施設について、次のとおり届け出ます。

工場又は事業場の名称	K プロダクツ 株式会社 ●●工場	※整理番号	
工場又は事業場の所在地	神奈川県厚木市 水引 2-3-1	※	法施行規則別表第 3 の 3 に掲げる項番号及び名称
水銀排出施設の種類	1 石炭ボイラー	※施設番号	
水銀排出施設の構造	別紙 1 のとおり。	※審査結果	
水銀排出施設の使用の方法	別紙 2 のとおり。	※備考	
水銀等の処理の方法	別紙 3 のとおり。		
参考事項			

- 備考
- 1 水銀排出施設の種類欄には、大気汚染防止法施行規則（以下「施行規則」という。）別表第 3 の 3 に掲げる項番号及び名称を記載すること。
 - 2 ※印の欄には、記載しないこと。
 - 3 変更届出の場合には、変更のある部分について、変更前及び変更後の内容を対照させること。
 - 4 届出書及び別紙の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本工業規格 A 4 とすること。
 - 5 氏名（法人にあつてはその代表者の氏名）を記載し、押印することに代えて、本人（法人にあつてはその代表者）が署名することができる。
 - 6 施行規則様式第 2 による受理書の写しを添付し、参考事項の欄に、当該受理書の受理番号及び受理年月日を記載する場合であつて、都道府県知事又は大気汚染防止法施行令第 13 条に規定する市の長が別紙 1～3 の全部又は一部を添付することを要しないと認めるときは、別紙 1～3 の全部又は一部を省略することができる。

水銀排出施設の構造

工場等で付けて
いる施設番号

工場又は事業場における施設番号	1号ボイラー	
名称及び型式	循環流動層ボイラー ABC型	
設置年月日	年 月 日	
着手予定年月日	2018年〇月〇日	
使用開始予定年月日	2018年〇月〇日	
規 模	伝熱面積 (m ²)	
	燃料の燃焼能力 (重油換算 l / h)	22,000 L/h
	原料の処理能力 (t / h)	
	火格子面積又は羽口面断面積 (m ²)	
	変圧器の定格容量 (kVA)	
	焼却能力 (kg / h)	

メーカーカタログ・機
器仕様書等から調べ
て、当該施設の種類・
名称・型式を記入

届出日から 60 日
以降の日付

石炭ボイラーは、燃料燃焼能
力欄の記入必須 (10 万 L/h
で排出基準が異なる)

備 1 設置届出の場合には着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、
変更届出の場合には設置年月日の欄に、変更届出の場合には設置年月日、
及び使用開始予定年月日の欄に、それぞれ記載すること。
大気汚染防止法施行規則別表第3の3の中欄に規定する
すること。
の構造概要図を添付すること。概要図は、主要寸法を記入
し、日本工業規格 A 4 の大きさに縮小したもの又は既存図面等を用いるこ
と。ただし、施行規則様式第2による受理書の写しを添付する場合であつ
て、都道府県知事又は大気汚染防止法施行令第 13 条に規定する市の長が
構造概要図を添付することを要しないと認めるときは、当該概要図の添付
を省略することができる。

規則別表第3の3の中欄
に規定する項目について
記載

各種燃料の重油換算 (昭和 46 年 8 月 25 日付環大企第 5 号)

燃料の種類	重油 10 ㍓に相当する量 (単位燃料あたりの重油の量)
液体	10 ㍓ (1 ㍓ → 重油 1 ㍓)
気体	1.6 m ³ (1 m ³ → 重油 0.625 ㍓)
固体	1.6 kg (1 kg → 重油 0.625 ㍓)

注) LPG (液化石油ガス) は、発熱量が高いため、空気で希釈し用いることが
あります。その場合は、希釈後の体積により重油換算を行います。

石炭ボイラーの例

工場又は事業場における施設番号		1号ボイラー				
使用状況	1日の使用時間及び月使用日数等	0時～24時 時間/回 回/日 28日/月				
	季節変動	通年				
原材料 (水銀等の排出に影響のあるものに限る。)	種類					
	使用割合					
	原材料中の水銀等含有割合					
	1日の使用量					
燃料 (水銀等の排出に影響のあるものに限る。)	種類	石炭(瀝青炭)				
	燃料中の水銀等の含有割合	0.01mg/kg				
	通常の使用量	500t/d				
	混焼割合	100%				
排出ガス量 (Nm ³ /h)		湿り	最大 340,000	通常 315,000	最大	通常
		乾き	最大 280,000	通常 260,000	最大	通常
排出ガス中の酸素濃度 (%)		6.8%				
水銀濃度 (μg/Nm ³)	全水銀	0.34 μg/Nm ³				
	ガス状水銀	0.3 μg/Nm ³				
	粒子状水銀	0.04 μg/Nm ³				
参事事項						

施設の使用の変動の有無、使用期間

・代表値や平均値を記載
・幅記載することでも可

最大：定格能力運転時
通常：通常運転時

・乾きガス中の濃度(平均的な濃度)
・水銀等の処理施設がある場合には、処理後の濃度
・設置の届出の時点で実測値が得られない場合は設計値等でも可(ただし、定期測定の結果と大きく異なる場合は変更届を提出)

平常時の平均的な濃度を記載する場合には、処理後の濃度とするこ
に著しい変動がある施設についての排出のために採っている方法等

を記載すること。

廃棄物焼却炉の例

水銀排出施設の使用の方法

工場又は事業場における施設番号		1号炉				
使用状況	1日の使用時間及び月使用日数等	0時～24時 時間/回 回/日 24日/月				
	季節変動	通年				
原材料 (水銀等の排出に影響のあるものに限る。)	種類	廃プラ、廃油、 木くず、汚泥				
	使用割合	廃プラ：廃油：木くず：汚泥 = 3：3：1：3				
	原材料中の水銀等含有割合	廃プラ：0.2 mg/kg 廃油：0.01mg/kg 木くず：0.3mg/kg 汚泥：0.02mg/lg				
	1日の使用量	150 t/d				
燃料 (水銀等の排出に影響のあるものに限る。)	種類					
	燃料中の水銀等の含有割合					
	通常の使用量					
	混焼割合					
排出ガス量 (Nm ³ /h)		湿り	最大 440,000	通常 380,000	最大	通常
		乾き	最大 350,000	通常 290,000	最大	通常
排出ガス中の酸素濃度 (%)		11.5%				
水銀濃度 (μg/Nm ³)	全水銀	1.6 μg/Nm ³				
	ガス状水銀	1.5 μg/Nm ³				
	粒子状水銀	0.1 μg/Nm ³				
参事事項						

施設の使用の変動の有無、使用期間

・ 代表値や平均値を記載
 ・ 幅記載することでも可
 ・ 事業者において水銀含有量の測定が不可能な場合は、空欄でも可 (例：梱包された状態での処理が求められる感染性廃棄物)

最大：定格能力運転時
 通常：通常運転時

・ 乾きガス中の濃度 (平均的な濃度)
 ・ 水銀等の処理施設がある場合には、処理後の濃度
 ・ 設置の届出の時点で実測値が得られない場合は設計値等でも可 (ただし、定期測定の結果と大きく異なる場合は変更届を提出)

平常時の平均的な濃度を記載する場合には、処理後の濃度とするこ
 に著しい変動がある施設についての排出のために採っている方法等

を記載すること。

水銀等の処理の方法

水銀等の大気排出抑制に効果があると考えられる排出ガス処理設備について記載（例：電気集じん機、スクラバー）

水銀等の処理施設の工場又は事業場における施設番号		系統 1			
処理に係る水銀排出施設の工場又は事業場における施設番号		1号ボイラー			
水銀等の処理施設の種類、名称及び型式		ろ過式集じん機 BBB型			
設	置	年	月	日	
着	手	予	定	年 月 日	
使	用	開	始	予 定 年 月 日	
処 理 能 力	排出ガス量 (Nm ³ /h)	湿り	最大 340,000 通常 315,000	最大 通常	
		乾き	最大 280,000 通常 260,000	最大 通常	
	排出ガス温度 (°C)	処理前	160°C		
		処理後	145°C		
	排出ガス中の酸素濃度 (%)		6.3%		
	水銀濃度 (µg / Nm ³)	全水銀	処理前	3.8 µg / Nm ³	
			処理後	0.34 µg / Nm ³	
		ガス状水銀	処理前	3.0 µg / Nm ³	
			処理後	0.30 µg / Nm ³	
		粒子状水銀	処理前	0.80 µg / Nm ³	
処理後			0.04 µg / Nm ³		
捕集効率 (%)	全水銀	91%			
	ガス状水銀	90%			
	粒子状水銀	95%			
使 用 状 況	1日の使用時間及び月使用日数等		0時～24時 時間/回 回/日 28日/月	時～ 時 時間/回 回/日 日/月	
	季節変動		通年		

- 備考 1 水銀排出施設において発生する水銀等を排出口から大気中に排出する前に処理するための施設（集じん機等）について、記載すること。
- 2 設置届出の場合には着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、使用届出の場合には設置年月日の欄に、変更届出の場合には設置年月日、着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、それぞれ記載すること。
- 3 水銀濃度は、乾きガス中の濃度とすること。
- 4 水銀等の処理施設の構造図及びその主要寸法を記入した概要図を添付すること。ただし、施行規則様式第2による受理書の写しを添付する場合であつて、都道府県知事又は大気汚染防止法施行令第13条に規定する市の長が当該構造図及び概要図を添付することを要しないと認めるときは、当該構造図及び概要図の添付を省略することができる。